2006年4月27日

各　　位

会　社　名　**アステラス製薬株式会社**
代　表　者　代表取締役社長　竹中　登一
コード番号　４５０３
（URL　　http://www.astellas.com/jp）
東証・大証（各第一部）
決　算　期　3月
問合わせ先　広報部長　　田中　昭弘
Tel：（０３）３２４４－３２０１

米国イリプサ社の医療用医薬品　高リン血症治療薬「ILY-101」に関するライセンス契約締結のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：竹中　登一、以下「アステラス製薬」）は、この度、米国の医薬品会社イリプサ社（英名：Ilypsa, Inc.、本社：カリフォルニア州サンタクララ、President and CEO : Jay P. Shepard ）より、同社が創製し開発中の高リン血症治療薬「ILY-101」の日本での独占的開発・販売権を取得するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

高リン血症とは、血液中のリンの濃度が通常よりも高くなる疾患です。通常体内のリンは腎臓を通して尿中に排泄されますが、腎機能が低下した状態ではリンの排泄が困難となります。また、透析によっても十分リンを除去することができないため、多くの腎不全の患者が高リン血症を発症しています。血中リン濃度が高くなると、血中カルシウムや副甲状腺ホルモンとの相互作用により、様々な合併症を引き起こします。また、心血管系をはじめとした軟部組織への石灰沈着が生じやすくなり、虚血性心疾患のリスク増大に繋がる恐れがあります。

「ILY-101」は、イリプサ社によって開発された非吸収性のリン酸吸着ポリマー（高分子）です。同剤は消化管内で食物中から遊離したリン酸と結合し、糞便中へのリンの排泄を促進させることにより、消化管からのリン吸収を抑制することで、高リン血症を改善する効果が期待されています。

このたびの契約締結に伴い、アステラス製薬は、イリプサ社に対して契約締結時の 22 百万ドルを含む総額 92 百万ドルを支払うとともに、製品の販売に応じてロイヤルティーを支払うことになります。なお、同剤の国内での第Ⅰ相臨床試験は2006年度中に開始する予定です。

イリプサ社は、2003年に設立された非吸収性ポリマー医薬品の開発に特化したバイオベンチャーです。同社は現在米国において、同剤の高リン血症の改善を適応症とした第Ⅰ相臨床試験を完了し、引き続き慢性腎不全患者を対象に第Ⅱ相臨床試験を速やかに開始する予定です。

以　上